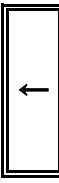


# CASBEE® 広島

■使用評価マニュアル: CASBEE-広島 2014年版

使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2014(v.2.0)

## 評価結果



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ライオンズ広島加古町	階数	地上15F
建設地	広島市中区加古町2-1	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	552 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年3月 予定	評価の実施日	2016年1月20日
敷地面積	2,276 m <sup>2</sup>	作成者	柴崎 和彦
建築面積	1,189 m <sup>2</sup>	確認日	2016年2月1日
延床面積	13,532 m <sup>2</sup>	確認者	柴崎 和彦



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.7** ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	69%
③上記+②以外の	69%
④上記+	69%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5  
Q1 室内環境: 3  
Q3 室外環境(敷地内): 3  
LR1 エネルギー: 3  
LR2 資源・マテリアル: 3  
LR3 敷地外環境: 3

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

**Q のスコア = 3.3**

##### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.7

##### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.7

##### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

#### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.6**

##### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

##### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

##### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.6

### 3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.3

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 3.7	スコア = 2.1	スコア = 3.4
<b>設計の計画上特段に配慮した事項</b> 住宅性能評価: 断熱性能等級4を確保。住戸開口部にLow-E複層ガラスを採用。//電気温水器(エコキュート)を採用している。(自然冷媒を用いたヒートポンプ蓄熱システムを使用)//節水型便器、節水器具を採用。//オール電化住宅としている。	<b>設計の計画上特段に配慮した事項</b> /駐車・駐輪スペースの確保。	<b>設計の計画上特段に配慮した事項</b> 住宅性能評価「劣化対策等級3」確保。/構造躯体に損傷を与えず設備配管を更新できるよう配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される